

那覇市長 宛		令和 6 年 9 月 18 日	
		団体名 山城塾	
		代表者 山城 勝秀	
		担当者 山城 勝秀	
「なは市民活動支援事業」			
中間報告書			
令和6年5月15日付け、那覇市指令市ま第687号で交付決定の通知を受けた当該事業について、現時点での進捗を下記のとおり報告します。また、市ホームページへの掲載を承認し、中間報告会で他団体とも内容を共有します。			
1.事業名	自主夜間中学校の設立		
2.実施内容	(何をいつ実施したか(事務局会議は除く)、対象者や実施場所など) ・不登校の生徒を対象に4月に自主夜間中学を設立した。毎週、火曜日と木曜日の18:00～20:00まで。場所は社会福祉法人「そてつの会」の3階。指導者は中学校教員の資格を持った元教員を配置。指導教科は主要5教科で国語、数学、英語、社会、理科。 ・4月11日には開設したが、6月まで入学する生徒はいなかった。しかし、琉球新報に6月に取り上げられてから問い合わせが多くなり、7月から少しずつ通う生徒が増えた。8月の夏休みも夜間中学を継続し、9月現在、10名が通うようになった。毎回、出席する生徒はいないが、9月に入ってから出席する回数も増えた。7月の頃とは違って生徒達と教師の信頼関係が築かれ、生徒達が安心して学習に取り組む姿が見られるようになった。通っている生徒は近隣の中学校が多いが、浦添市からも通学している生徒もいる。中学1年生が1名、2年生が6名、3年生が2名。 (小学生6年生が1名)		
3.事業を一言で表現すると	(例：生活困窮世帯に食糧を配布することで、対象者が安定して食事が取れるように支援する。) 自主夜間中学を設立することによって不登校の生徒達の学びを保障する。		
4.これまでの活動の振り返り	【良かった点】 1 予想以上の生徒達が通うようになった。夜間中学は必要とされていることを実感。 2 ここに通っている生徒が落ち着いて、学習に取り組む姿をみて、自主夜間中学を設立してよかったと感じた。 3 那覇市内は、自主夜間中学に通った日数は出席扱いになることが確認でき、生徒が安心して通うようになった。また、浦添市内のある中学校は校長裁量で出席扱いをすることになった。	【改善点・今後につなげる点】 改善点 1 カウンセリングが必要であると思う生徒がいるのでカウンセリングの回数を増やしたい。 今後につなげる点 2 指導教師が長く続けられるように、教育委員会などと連携をとりボランティアではなく行政の支援で働けるような環境整備をしていきたい。	
5.今後の活動予定 (事業期間内又はすでに終了した団体については次の予定)	(何をいつ実施するか、対象者や実施場所、など) ○今後の取り組み 1 生徒の多くがにぎやかなところが嫌、あるいは苦手なので、徐々に慣れていくような体験活動として誕生日会を実施する。 2 共同作業を通して、協力することで一つのことを仕上げていく経験をさせる。(例えば、調理実習。バーベキューやカレー作りなど)		

6.活動写真 (簡単な説明文を記入)	 (そてつの会の3階にある夜間中学)	 (本棚などの備品も揃って教室らしくなった)
	 (学習の様子・時々斉授業)	 (二人の教師が相談しながら指導)
7.今回の達成目標 (当初の事業計画書に記載した目標)	・夜間中学校授業実施 (年72日実施) ・パンフレット、チラシの作成 (各1,000部) ・調理実習の実施 (年2回実施)	
8.現時点の目標達成度 (例: 60%達成)	・夜間中学校授業実施 (年72日実施) → 36日実施 (50パーセント達成) ・パンフレット、チラシの作成 (各1,000部) → 未作成 (0パーセント) ・調理実習の実施 (年2回実施) → 未実施 (0パーセント)	

* 9月20日 (金) 提出

* 提出方法: メールにて提出

* 提出いただいた中間報告書は、ホームページにそのまま掲載予定です。枠を広げて構いませんが、2ページに収まるように記入してください。

* 中間報告書は、報告会で参加者に配布予定です。この報告書をもとに発表していただいても構いません。